

口腔ケア 条例化

一人が健康づくりに主体的に取り組み、食べる喜びや話す楽しみを生産にわたって実感できるような社会の実現を目的とする。

宮古歯科医師会の倉

田英生会長は「歯の健

康は生活習慣病と関わ

りが深い。条例制定に

より従来手薄だった成

人から高齢者層の啓発

を図り、歯科保健対策

の充実につなげたい」

と歓迎する。

陸衛生の確保も図る。

同市は12年4月から

同市茂市の新里保健セ

ンターを歯科事業の拠

点と定め、母子検診で

母親に指導を行うほ

か、仮設住宅で健康相

談を行ってきた。

乳幼児歯科検診は1

条例案では県民一人

会(佐々木博義長)も

19日招集の2月定例会

で、県民の口腔の健康

づくり促進や口腔保健

サービスが受けられる

環境整備の推進などを

盛り込んだ推進条例案

を提案予定。

宮古市は18日、歯の健康を
保ち生活習慣病の予防につな
げるため「歯と口腔の健康づ
くり条例」を県内市町村で初
めて制定した。同市は歯科医
師や歯科衛生士、保健師が連
携した乳幼児期の虫歯予防に
成果を挙げており、条例制定
により、手薄だった成人層に
対する予防啓発が期待でき
る。2013年度に具体的な
目標や施策を定めた基本計画
を策定し、市民に周知を図る。

宮古市

条例案は同日開会し、検診の機会確保に努め
た市議会3月定例会で、そのことを明記した。

可決された。市と市民、具体的な取り組みと

歯科医師、教育・保健として、フッ化物配合歯

福祉関係者、事業者、磨き剤を利用した歯磨

とに歯科保健対策の責、きや定期的な歯科検診

務を定めた。市民は定、の受診、要介護者への

期的な歯科検診を受、口腔清掃などの推進を

し、事業者は従業員の、想定。災害発生時の口

歯の健康一層推進 県内市町村で初の制定

県議会でも提案予定

歳から3歳まで半年ご
とに実施。保護者に口
腔ケアの重要性を周知
したことから、11年度
の3歳児の虫歯の有病
率は18・85%と西和
賀町(12%)に次いで、
県内市町村で一番目に
少なかった。

歯と口腔の健康づく
りをめくれば、県議

活動充実させたい

箱崎守男県歯科医師会長の話
食事(かむこと)や会話は、
生きていく上でとても大切なこ
と。歯と口腔の健康は全身の健
康をはじめ、災害時の肺炎予防、
がん患者の術後在院日数の短縮
などにつながる。関係者の役割
が明確化されれば動きやすい。
条例に沿うように口腔ケア活
動を充実させていきたい。